



Lions Clubs International District 334-C

the Lion

ザ・ライオンタイムズ DISTRICT 334-C

2018
2019

Vol.2

■地区ガバナーアピール

■ACT報告

■年次大会案内

■事務局だより

地区ガバナーアピール



地区ガバナー

橋本 勝策

新年、明けましておめでとうございます。
平成最後の新たな年を迎えるとともに、今年度キャビネットも下半期を迎えました。まさに「光陰矢のごとし」を実感しております。

今年度上半期、大過なく順調にキャビネットの運営ができましたのも、地区役員・各クラブ会長各位をはじめとして、地区内会員各位の温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

さて、今年度末には地区内会員の皆様方と共に笑顔で活動を振り返り、お互いに称えあって有終の美を飾ることができるよう、この場をお借りして改めてお願いを申し上げます。

私共はややもすると、半期を過ぎると「もうこれで今期分の活動はした。あとは無事年度末を迎えるのみ」との意識を持ちかねません。しかしながら、視点を変えて自社の経営等を考慮すれば、上半期の結果を踏まえて当初の目標を再確認し、目標の完遂を目指して一層の奮起を誓うのではないのでしょうか。

当然、職業とボランティアの立ち位置は違いますが、その任に当たる以上、そしてその任を引き受けた以上、責任を持って最後の最後まで責任を果たす努力をし、その成果を次年度のさらに活発

な活動につなげていく、ということこそ私どもが携わっている全ての組織に対する大切な意識ではないかと思います。

そこで是非、今年度地区役員の皆様、クラブ会長の皆様、全会員の皆様には、年度当初に掲げた地区・クラブの全ての目標を改めてご確認いただき、残る5か月・150日・3600時間という十分な活動期間を有効に活用して目標の完遂を成し遂げ、334-C地区メンバーとしての心意気を示そうではありませんか。

残る期間、ライオンズクラブ発展の大本である「志を同じくする同士」の増強に努め、この平和な日本という国に居ながらにして、世界中の困窮する人々や子供たちに支援できるLCIFへの寄付に邁進していただくよう心よりお願いを申し上げますと共に、私も今年度地区ガバナーとして、残るすべての時間を皆様と共に手を携えて一所懸命努力することをお誓いします。

そして「やり尽くした達成感」と「笑顔」で、共に年度末を迎えたいものと念願しております。会員の皆様に今年が素晴らしい年となりますよう、心より祈念申し上げます。

SPECIAL EDITION

2018年10月8日・地区78クラブ統一奉仕の日

1 R ・ 1 Z 浜松グリーンLC



「2018年10月8日・地区78クラブ統一奉仕の日」 寄贈品リスト一覧表			
1 R 1 Z 浜松グリーン LC			
No	品名	個数	備考
1	無炭水 10kg	2	
2	菜豆 1kg	1	
3	ハウス食品 カレー	10	
4	五右衛門 カレー	10	
5	ハウス食品	4	
6	五右衛門	5	
7			
8			

ライオンズクラブ国際協会334-C地区(静岡県)は78クラブで構成されています。

この度、全クラブ会員が一丸となって、困難な状況下にある方々へ「元気で健康的な生活を支援する」一助の活動として“フードドライブ”に取り組むことになりました。

浜松グリーンLCの1Z・ゾーンチェアパーソンL. 小杉浩造は「寄贈品リスト一覧表」=八品目29点の物資を、認定NPO法人「フードバンクふじのくに」に送付しました。

1ゾーン内の他のクラブもこの一つの目的に向かって協力することになりました。

自分たちの共通した課題と認識して、困ったあるいは厳しい状況にある方々にいつでも支援できればと思います。

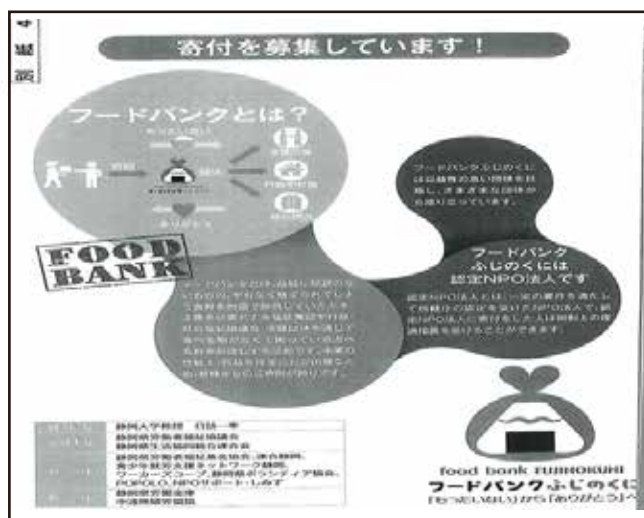
また、各クラブが奉仕する意義をあらためて認識する機会になれば、より有意義な活動になりましょう。

334-C地区の会員数は現在3,300名ほどです。

この全員が力を合わせれば相当の事を成し得ます。

10月8日 78クラブ地区統一奉仕の日 「フードドライブ」への取り組み

1 R・2 Z 袋井 L C



「フードドライブ」とは、各家庭で余っている品質に問題のない食品を持ち寄り、それを必要とする人々に「フードバンク」などを通じて寄付する活動。

袋井ライオンズクラブ所属の太田ZCより「今年度は、橋本地区ガバナーが地区スタート以来初めて、地区78クラブ同一事業として『フードドライブ』に取り組むので協力しよう」という話がありました。

「フードドライブ」「フードバンク」詳しい知識があまりありませんでしたが、ZCの話にメンバーが耳を傾けました。そして、その後開催されたガバナー公式訪問で橋本地区ガバナーのお話を聞き、DVDを観てメンバー全員が賛同しました。

今、全世界には飢えに苦しんでいる人は10億人、貧困層に関しては20億人以上がいると言われています。そして、私たちの周りにも経済的貧困や一人親家庭などの理由で十分な食事がとれなかったり、一人で食事をしなければならない子どもたちが増えていると聞きます。

一方で安全に食べられるにもかかわらず処分されてしまう食品が年間何百万トンもあるという現実・・・。

メンバーへの呼びかけで集まった品物は、お米、油、しょうゆ・砂糖などの調味料、お茶、乾麺類などです。ゾーン全体では575kgもの食品が集まったそうです。

元気で健康的な生活を送っていただくための一助、そして地域社会の善意を呼び起こし、温かい支援の輪に繋がっていくことを期待します。

SPECIAL EDITION

CN55周年記念事業「ふれあいコンサート」

1 R・3 Z 奥浜名湖LC



奥浜名湖ライオンズクラブでは、CN50周年記念式典以来、毎年コンサートを開催しています。今年は、55周年という節目の年を迎えたこともあり、「地元の音楽文化を盛り上げる」・「音楽の楽しさを肌で感じてもらう」・「子供たちのこれからの活躍を応援する」の3つの目的を柱にし、初めて出演者を学生のみとしたコンサートを開催しました。

学生に演奏の場を提供し、経験を積んでいただく機会を作ること、地元の方々に音楽の素晴らしさを感じていただくこと、頑張っている学生さんが沢山いることを知っていただくことができた有意義なコンサートとなりました。

【来場者からの感想】

・引佐南部中学校吹奏楽部さんは演奏会の回数を重ねる度にどんどん上手になっていく。

・高校生、大学生学生とは思えない素晴らしい演奏に感動した。

【出演者の方の感想】

・いい経験ができて、とてもよかった。

今回出演した浜松学芸中学校・高等学校の「佐藤凜太」さんが、12月に開催された全日本学生音楽コンクール全国大会において、声楽の部で入賞をしたとのこと、とても喜ばしい出来事でした。

当日受付にて、「学生の音楽活動のため」の募金箱を設置したところ、来場者の皆さんがご協力くださり、2万円が集まりました。

当初、出演をしてくださった引佐南部中学校と浜松学芸中学校・高等学校へそれぞれ1万円ずつ寄付をする予定でしたが、浜松学芸中学校・高等学校様より、「引佐南部中学校様でご活用ください」とのお言葉を頂き、12月4日、引佐南部中学校へ2万円を贈呈し、大変喜ばれました。この事は、静岡新聞・中日新聞に掲載され、ライオンズクラブの活動を周知することにもつながりました。

今後もこの活動を継続していきたいと思っています。

第11回御前崎ライオンズクラブ子ガメCUP

1 R ・ 4 Z 御 前 崎 L C



ホィッスルと同時に駆け回る子供達、ボールに全員集まってしまっていて、転んでしまっていて、男の子より女の子が一回り大きくて頑張っていて、そんな6歳の子供達。7歳8歳と大きくなるにつれ試合らしくなり、9歳のチームになると統制が取れ、技術も付き、自分の役割も理解して、個人技も目立つようになり、子供の成長ってすごいなあと、孫やひ孫位の子供達の駆け回る姿を、毎回楽しみに観戦します。

「僕らがこのカップもらえるの?」「メダルは誰が貰うの?」「去年は3位だったから今年は一番大きいのが欲しい」と本部席にある優勝カップ、メダルをのぞきに来る子供達。2018年11月24日(土)U6・U7、25日(日)U8・U9 御前崎市総合陸上競技場グラウンド(芝)と御前崎市総合グラウンド多目的広場(芝)で2日間2会場総当たり戦の4試合 6歳から9歳までの選手354名の大会を主催させて頂いて11回目になりました。

浜岡黒潮サッカースポーツ少年団父母会の皆さんが主管をして下さっています。2会場とも芝生のグラウンドなので6歳の子供から芝のコートで試合ができると人気があり、富士市・静岡市・藤枝市・島田市・牧之原市・掛川市・袋井市・磐田市・浜松市から参加して頂いています。

御前崎市は遠州灘と駿河湾の2方向が海に面しており、ウミガメの産卵保護地区でもあります。元気に育って地元に戻ってきてと子ガメの放流をしています。小さな子供達が一生懸命頑張って、大きく元気に育ってほしいと願いを込めて「子ガメCUP」という大会名になりました。

この大会を通じて子供達がコミュニケーションの大切さ、チームワークの力、感謝の心を感じて頂ければ嬉しく思います。父母や地域の大人達が、見守り、大切に育て、将来子供達が、それぞれ地域の発展に寄与できる大人に育って欲しいと願っています。

子供の貧困について学ぶ

2 R ・ 1 Z 静岡 L C



2018年10月17日（水）、ライオンズクラブ国際協会 334-C地区2R・1Z統一アクティビティとして「子供の貧困」をテーマに一般社団法人てのひらの代表理事 川口正義氏（以下、川口氏）をお迎えし、5クラブ157名参加のもと講演会を実施しました。

全国では6人に1人の子供が相対的貧困家庭に暮らしているというデータが出ています。我が静岡市においては本年度の調査の結果7人に1人という報告がなされました。

昨今問題となっているのは貧困家庭の事ではなく、親の子供に対する愛情の欠如、育児放棄、DV等の現状です。

このような問題を解決すべく川口氏は、子供食堂を開設し、日々子供たちと一緒に活動を行っています。

川口氏からは、子供の貧困の実態、子供たちとの接し方、これまでの活動の中での子供たちの変化などを講演して頂きました。

聴講したクラブメンバーには、涙を浮かべるメンバーもあり、子供の貧困の切実な問題を感じとって頂くことが出来ました。

講演後、川口氏に今回の統一アクティビティチャリティー目録を贈呈。後日開催されたZC主催5クラブ懇親チャリティーゴルフ大会でも寄付を募り、合わせて523,200円の支援をしました。

今回のアクティビティ（講演会）を通し、日々「子供の貧困」問題について意識し、当クラブだけでなく他クラブとも連携し、今後も継続して活動・支援していく所存です。

SPECIAL EDITION

一日お父さんの会

2 R ・ 2 Z 清 水 L C



一般社団法人静岡市母子寡婦福祉会・清水ライオンズクラブ共催事業「1日お父さんの会」を開催いたしました。

様々な理由から母子、父子のみになることになったご家庭の子供たちに、普段出来ない何かを経験させてあげたい、そんな思いからこの事業を行っています。

この事業は1981年から今年で37回目の事業となります。

近年では「海がめの放流体験」「大久保キャンプ場でのグラクスキーとBBQ」「淡島マリンパークでの釣り体験」「東京スカイツリー見学」を行いました。

今年は10月14日(日)掛川市にある「掛川花鳥園」と「ふじの国お茶ミュージアム」へバスに乗り行ってきました。バス一台をチャーターして総勢40名の皆様が参加して頂きました。生きている世界各国の珍しいふくろうの展示を見学し、ふくろうのショーも観覧しました。

お昼はバイキング料理を皆で堪能し子供達は大勢と一緒に食事をするのを喜んでくれました。

午後からは「ふじの国お茶ミュージアム」へ移動してお茶の博物館や日本庭園を見学しました。参加者に一日間のバス旅行を楽しんでもれました。

このアクティビティは子供達の笑顔に出会えるためメンバーも楽しみにしています。

一般社団法人静岡市母子寡婦福祉会は、子供同士、お母さん同士の交流場でもあります。

積極的に静岡市母子寡婦福祉会の活動に参加をして子供たちの成長に役立てていただければと考えています。

清水ライオンズクラブとして、今後も、子供達の記憶に残る体験を「1日お父さんの会」事業を行い、静岡市母子寡婦福祉会の活動をサポートし会の発展のお手伝いをしてまいります。

10月8日・78クラブ地区統一奉仕の日

2 R ・ 3 Z 川根 L C



10月8日「78クラブ地区統一奉仕の日」に向けて334-C地区2R3Zでは、少しでも多く集めるように、訪問例会及び諮問委員会に於いて各クラブの皆様をお願いをしました。

回収方法は、諮問委員会に於いて周知をし、クラブ単位で10月7日までに集め、10月8日8時30分までに島田市役所に持ち寄ることと致しました。

当日は、2トントラックをレンタルして8時30分より受付を開始し、2R3Z内の5クラブすべての持ち寄りが完了したところで、出役下さった皆さまでトラックへの積み込み作業を行いました。NPO法人フードバンクふじのくにへは川根ライオンズクラブの2名で届けさせていただきました。

当日ゾーン内5クラブより18名の皆さまのご協力をいただき、集まった食料品は、各クラブが、恵まれない方々のために少しでも多く集めようという奉仕の心のもとに取り組んだ結果、1191.18Kgと県下でも最多となりました。

今回この事業を実施するにあたり、主旨である「めぐまれない家庭に食糧支援を」という呼びかけに、ライオンズのモットー We S e r v e の精神で会員の皆様に深い理解と協力をしていただいた結果、こんなにも多くの食糧品を集める事ができたと思います。きっと皆様のあたたかい心も一緒に届いたのではないのでしょうか。

ご協力ありがとうございました。

SPECIAL EDITION

合同アクティビティ「防災講演会」

2018年10月16日〔火〕しずぎんホール「ユーフォニア」

2 R ・ 4 Z 5 L C

静岡駿府L C 静岡けやきL C 静岡リバティL C 静岡弥生L C 静岡巽L C



2018年、今年の漢字一文字が発表されました。「災」であります。

今年初めから全国各地で自然災害が発生してしまいました。今期の合同アクティビティを考える際、「防災」をテーマに掲げました。

静岡県は40年前から東海地震に備え様々な準備をしてくれています。しかし、準備慣れをしてしまっていないだろうか？恐らくではありますが、そういう方々が存在しているのは事実だと思います。今回は静岡県ボランティア協会様の協力をいただき、約8年前の東日本大震災で被災され今も尚復興に力を注いでいる岩手県陸前高田市市長、戸羽 太様に講演会を依頼しました。

演題はズバリ「被災地の本当の話をしよう」です。講演会には消防関係の方をはじめ、一般の方、5ライオンズクラブのメンバー計250名程が集まって頂き講演に耳を傾けました。講演会終盤には静岡県の元防災局長、井野盛夫様との対談をセットし

静岡県のこれからの防災準備を討論していただきました。

私たちライオンズクラブは奉仕団体、ボランティア団体として活動しておりますが、まず私たちが被災してしまう恐れもありますし、日頃ボランティア活動をしている私たちが、ボランティアをされる側に廻ってしまう事も十分考えられます。

戸羽市長の最後の一言が「後悔しない準備をして下さい」でした。シンプルでいて非常に心に響く言葉でした。今回の講演会に参加して下さった方々には十分に伝わったと思いますし、防災の意識は非常に高まったと感じています。残念ながら参加できなかったライオンズメンバーには講演内容をDVDにして各クラブに配布しました。

最後にこの講演会を開催するにあたり、協力して下さった皆様に感謝すると共に、これからも地域社会に貢献できるライオンズクラブでありたいと思います。

334-C地区（静岡県）78クラブ統一事業 「フードドライブ」

3 R ・ 1 Z 沼津 L C



10月8日（月・祝）に、334-C地区がスタートして42年目にして初めて静岡県内の78クラブが一斉に同一の目的を持ち・同一事業である「フードドライブ」を行いました。

この事業は、近年県内でも社会問題になっている、職を無くした等の理由により「厳しい生活状況下にある家族」への支援活動としての取り組みであり、我々が担当した沼津市内では、5つのライオンズクラブ（沼津・沼津千本・沼津香陵・沼津中央・沼津駿河）が協調し、認定NPO「フードバンクふじのくに」に食品や現金を贈らせていただきました。

厳しい経済状況にある人たちに食品の支援をおこない、元気で健康的な生活を送ってもらうための一助として県内のライオンズクラブが初めて一斉活動に取り組んだもので、これを一つのきっかけに地域社会の善意を呼び起こし、温かい支援の輪に繋がっていくことへの思いが込められています。

当日は、各クラブの会長、幹事及びスタッフが、当地域のZCであるL赤堀肇紀の会社支援物資を持って集まり、仕分けをして輸送する車に積み込みました。その後、会議室にて今回の取り組みについての意見交換も行いました。

各クラブとも、従前よりライオンズクラブの基本となる社会奉仕活動を続けて参りましたが、今回の「フードドライブ」の取り組みを統一した活動として今後も続けていってはどうかという提案があり、幹事会等で検討していくという話しになりました。

今回、集められた支援物資は、ラーメンやカレーなどのインスタント食品や調味料など多く善意が寄せられ、会員からの寄付による現金171,766円とともにフードバンクに届けてまいりました。みなさまの心あたたまご支援に感謝いたします。

※フードドライブとは
家庭に眠っている食品を集めて、フードバンクに寄付をする食品寄付運動のこと

SPECIAL EDITION

地区78クラブ・統一奉仕の日

3 R ・ 2 Z

富士吉原LC,富士岳南LC,富士タカオカLC,富士中央LC,富士マウントLC



334-C地区 橋本勝策ガバナーより、今年度地区統一奉仕の内容が提示され、現在社会問題になっている貧困家庭の子供たちへの支援活動に、認定NPO法人フードバンクふじのくに、県内フードドライブ協力自治体、社会福祉協議会へ、未使用の食料品の提供活動と決定された。

この依頼を受けたわが富士吉原ライオンズクラブ以下市内5クラブは、渡邊 直ゾーンチェアパーソンのもと、10月5日、同市青島の榎ヨシノロジコに集合し、集めた、米、レトルト食品、カップ麺などを「フードバンクふじのくに」に寄贈した。

寄贈式には5LCの三役以下約20名が参加、ゾーンチェアパーソンが、「職をなくしたことなどを理由に厳しい生活状況にある家族の支援活動として、静岡県各地区クラブが初めて力を合わせた事業。暖かい支援の輪をこれからも大切にしたい」とあいさつし、フードバンクふじのくにの

活動に富士市で取り組む大黒浩司さん（NPO法人POPOLO支援員）に食料品を引き渡した。

大黒さんは、「皆さんの善意を無にしない様、食料品を生活困窮者の為に生かしていきます」とお礼の言葉を述べた。

今回の統一アクティビティの目的にもあるように、今回静岡県内（334-C地区内）78ライオンズクラブが同一日時に同じ奉仕活動に取り組むことにより、ライオンズクラブの地域社会への更なる認知とともに、同じ志を持つ新たな有志の増強につながったものと思います。

また、各クラブが常々取り組んできた地域青少年の健全育成活動の為に増進策としても大変有意義であったと考えます。

10月8日・78クラブ統一奉仕の日

3R・3Z 御殿場LC



3R・3Zでは、食べるのがなく困っている方への支援として、各家庭に備蓄されている「賞味期限2ヶ月以上で、常温保存未開封の食料品」を寄付する『フード・ドライブ』に協賛し、メンバーが自宅より其々指定場所に持ち寄りました。

334-C地区内78クラブ、一斉統一奉仕の日として、3R・3Zの5クラブ（裾野・御殿場・小山・長泉・清水町）で協力し、各クラブ事務局にて物資の収集・保管をしました。

統一奉仕の日である10月8日に取りまとめ、御殿場ライオンズクラブ事務局に物資を集め、NPO法人「フードバンクふじのくに」に、無事手渡すことができました。

持寄られた品目は、お米230Kg・醤油5ケースなど他、缶詰・パスタ・カップ麺等多品にわたり、総数500箱超（箱・袋・個別単位では総数630品超）を引き渡すことができました。

ライオンズクラブのモットーである『We Serve』の理念のもと、地域社会、ひいては世界の人々との間に友情・友愛・親睦を築き、相互理解と信頼をもって、『食糧難の根絶』に向けた活動が成就できることを望みます。

個々人が飽食・美食の生活を改め、食料の大切さ・日々の食事のありがたさに感謝し、これら備蓄品が食べるものに困っている方のみならず、緊急災害発生の際には被災地への支援物資として有効に活用されることを願っております。

SPECIAL EDITION

富士山探検隊

3 R ・ 4 Z 富士宮 L C



富士宮市には、江戸時代に栄えた富士山信仰のひとつである「富士講」に関わる史跡が数多く存在しています。そのうちのひとつである「人穴富士講遺跡」は世界文化遺産の構成遺産であると共に、古くから富士宮市民にとって縁のある地として大切にされてきました。

しかしながら、時代の流れと共に徐々にその存在や意味を知る人は少なりつつある現状から、多くの市民の方々にこの地域の財産を知って欲しいという事でクラブアクティビティを開催するに至りました。

11月24日（土）富士宮市内から約60名の親子が参加し、秋晴れの清々しい空気の中、郷土研究家の渡井正二先生より富士講についての講義を受けました。

講義の中で、当時の富士講の事についてや、富士講と富士宮との繋がりなどを教えて頂き専門家ではないと知りえない知識に面白さと興味を覚えました。その後、人穴富士講遺跡へ移動し実際に遺跡の中へ入り見学をしました。

遺跡は、富士宮市が管理しており、事前に入場許可を申請し市が認めているガイドと一緒になくては入場できず、また入場際には保護具を着用のうえ誓約書にサインをしなければならないなど徹底した管理下にありました。

見学した遺跡は洞窟となっていてひんやりとしており、一見不気味に感じましたが、その中にも歴史を感じるものもあり非常に有意義な見学となりました。

その後、盲導犬育成施設である富士ハースに寄り盲導犬について学び、福祉の気持ちを持ちを育むと共に、盲導犬のありがたさを感じ施設の重要性を再確認しました。さらに、その後行われた昼食会では1日を振り返り各々感じたことなどを話されていました。

参加者の方々は、改めて色々な事に気づく事が多かったとの事でクラブとして今後も地元の財産を守る事、次の世代に引き継ぐ事を大事にしていきたいと考えています。

4R合同事業－天城環境保全啓発活動 「天城を仰いで」天城よ永遠なれ

4 R - 1 ・ 2 Z 1 6 L C



天城山は伊豆半島の中央部を東西に連なる山並みの総称です。天城山の自然は、清らかな水を育み、空気を浄化し洪水から山を守り、貴重な資源を提供してくれています。天城山は私たちの宝です。その宝を後世に伝えるために今何が出来るかを考え活動しています。

2011年より4R16全クラブは地域内のすべてに関係する環境問題は何か？を検討しました。伊豆半島の中心に標高1400メートルの天城連山があり、山頂より流れ出る河川、地下に浸み込み湧き出る温泉、それらはやがて海へと入り、豊かな漁場・砂浜を作り出します。

近年、山頂付近の崩落が目立ち始めました。理由としては温暖化・鹿の食害・登山道の整備不足等々多数になります。このままでは、水も枯れ温泉も湧かなくなり、海への栄養が無いと魚もいなくなります。伊豆半島の自然が消えてしまいます。

4R16クラブでは毎年合同事業としてZCが中心となり1年目からパンフレット・DVD作成、登山道の橋の整備、写真パネルを作成し各小学校に展示し、登山道への案内看板の設置、一般参加者と共に八丁池の清掃登山開催、今年度、ポスターの配布と16LC合同のホームページを開設しました。

それら全ての事業費は毎年4R全会員に1人¥1,000を負担いただき、委員会活動をしております。今後は、LCだけではなく、伊豆の住人、伊豆を訪れる多くの人に宝である天城山の自然環境の現状を知って頂き、かけがえのない自然を守ってゆくために全メンバーで活動してまいります。

HP amgi334clc16.org

天城山自然環境保全・地域活性化事業
委員長 L望月良和（大仁LC）

SPECIAL EDITION

みはらしフェスティバル

4 R ・ 2 Z 三島 L C



我々、三島ライオンズクラブは「誇りを胸に、真心の奉仕 “We Serve”」の精神のもと、そして、今年55周年スローガンである「Go Serve! Go LIONS!」～仲間と笑顔で心のこもった奉仕の実践～を胸に、2018年10月21日（日）開催の社会福祉法人見晴学園 第20回みはらしフェスティバルに参加・協力させて頂きました。これは、三島ライオンズとして毎年行っている奉仕活動の一つです。

学園は、障害者支援施設として施設入所支援・生活介護・ショートステイ・グループホーム・就労継続支援B型事業所・相談支援事業所など、様々な社会福祉施設を「一人ひとりのおもいのために」～共に笑い共に歩む～を基本理念として運営されています。

この、みはらしフェスティバルは、年に一度の秋の恒例行事であり、三島市及び近隣地域の企業、団体が一堂に会し、様々な

催し物で会場を盛り上げます。また、施設利用者の方にとっては、この日のために、日々、練習してきた歌と踊りを披露する場でもあり、我々は、施設利用者を応援し、このフェスティバルの盛会の一助となるため、模擬店（やきそば）を出店。箱根や富士山も共に20回目の開催を祝ってくれている様な青空の下、やきそばの調理と配布を通じ、施設利用者の方とその家族、施設職員、来賓の方々と共に笑い、楽しく一日を過ごすことができました。

今後も三島ライオンズクラブは、皆様の笑顔に触れることを目的に継続事業としてみはらしフェスティバルを応援してまいります。

INFORMATION

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第65回年次大会へのお誘い

地区内メンバーの皆様方には穏やかな陽光の中、気持ちも新たに平成最後の新春を迎えられたことと拝察いたします。また、常日頃からライオニズム高揚の為ご精進を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度も地区年次大会のご案内をお送りする時期となりました。既にご承知のとおり、第65回地区年次大会は例年よりほぼ1か月早く、来る4月21日(日)、焼津市・焼津文化会館を会場に開催致します。

今年度当初「誇りを胸に、真心の奉仕“We Serve”」の地区スローガンをご提示申し上げ、世界最大の社会奉仕団体の一員として、誇りをもって、楽しく、真心の奉仕活動に取り組みましょう、とお願いを致しました。昨年10月8日の地区として初の取り組みとなった「地区78クラブ統一奉仕の日」実施を始めとして、メンバーの皆様方には温かいご支援とご協力をいただき、多大な成果を挙げて上半期を経過できましたことに心より敬意を表し、感謝申し上げる次第です。

地区年次大会は地区内78クラブのこの一年間の奉仕活動の集大成の場であると同時に、久しぶりに地区内メンバーが相集い、奉仕活動を振り返り、讃え合って、和やかな交流の下に次年度の一層の活躍を期する場でもございます。今大会ホストの2R3Z・5クラブメンバー一同、年度当初から心をひとつに準備を進めて参りましたので、是非、多くの皆様にご参加をいただきたくご案内を申し上げます。

今大会開催地の焼津市は、焼津港と小川港・大井川港の三港を持ち、遠洋漁業と駿河湾の豊富な海の幸の「食」をはじめとして、「見るもよし、遊ぶもよし、味わうもよし、癒されるもよし」と多くの魅力が詰まった、静岡県はもとより、日本を代表する港町であります。地区大会へのご参加と共に、市内をご散策いただき、焼津市の魅力を大いにご体感いただければ幸いに存じます。

式典前のアトラクションでは、今や人気沸騰中の静岡出身のジャズ・シンガー「ウィリアムス浩子氏」をお迎えして、懐かしい数々の曲の詰まったジャズ・ライブをお届けいたします。華麗で魅惑的でスマートな、大人のムード溢れるライブをご堪能いただければ幸いに存じます。

記念チャリティゴルフ大会は4月3日(水)、富士市のリバー富士カントリークラブにて開催致します。春爛漫の季節の中、爽やかなプレーを満喫して多くのチャリティにご協力を賜りたく、奮ってのご参加をお待ちしております。

新緑の4月21日、港町焼津へのご来駕を心より、心よりお待ちしております。

ライオンズクラブ国際協会334-C地区 第65回年次大会



大会会長・地区ガバナー
橋本 勝策



大会委員長
長谷川 眞三



誇りを胸に、真心の奉仕 We Serve

ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区

第 65 回 年次大会

2019年4月21日 (日)

焼津文化会館



INFORMATION

事務局だより

2018～2019年度第3回キャビネット会議報告



2018～2019年度第3回キャビネット会議が1月28日(月)静岡市において開催されました。当日承認された主な事項は次の通りです。詳細は、資料と議事要録でご確認下さい。

《協議事項》

1. 2018～2019年度地区会計中間報告並びに監査報告
2. 次期クラブ三役セミナー実施について
3. 第65回地区年次大会議事規則・代議員議事運営構成表・当日投票実施手順・年次表彰規定の確認について
4. 第65回地区年次大会実行表改訂について・前当日スケジュール並びに分担・使用会場控室等について
5. 次期地区ガバナー及び次期第一・第二副地区ガバナー立候補者承認並びに、次期キャビネット幹事・会計予定者了解について

※キャビネット会議議事要録をはじめ、地区の各種委員会議事要録や統計資料は地区ホームページの「会員専用」ページに公開しています。会員専用ページに入るにはパスワードが必要です。
クラブ事務局がキャビネット事務局にお問い合わせ下さい。

《2018年冬季YCE来日青少年について》

昨年12月7日～28日にかけて当地区へ2名のYCE生が来日しました。
内訳：マレーシア男子1名(大須賀LC)・女子1名(沼津中央LC)。冬季複合地区主催のユースキャンプは12月15日～20日までA地区愛知県旭高原を中心に開催され、後半は京都見学が実施され、全員年末28日には帰国しました。
ホストクラブ・ホストファミリーの皆様には年末のご多忙の中、温かいご協力に心より感謝申し上げます。

《L山内盾夫(磐田LC所属)が2016～2017年度トップテンYCE委員長賞を受賞》

L山内盾夫は2015～2016年度地区YCE委員長、翌年2016～2017年度は334複合地区YCE委員長としてYCEプログラムの発展に尽力したことを評価され、毎年世界の10人に授与される2016～2017年度トップテンYCE委員長賞を受賞しました。

3月～6月のキャビネットスケジュール

- | | |
|---|--|
| ● 2/20(水) 第3回地区青少年・クエスト委員会
薬物乱用防止教育認定講師研修会 | ● 3/12(火) 第3回地区GAT会議 |
| ● 2/25(月) 第2回MC・L情報・IT委員会 | ● 3/25(月) 第4回キャビネット会議 |
| ● 2/27(水) 第3回YCE委員会 | ● 3/29(金)～30(土) 夏季派遣青少年宿泊
オリエンテーション |
| ● 3/11(月) 第4回ガバナーチーム会議
年次表彰最終審査会 | ● 4/21(日) 第65回地区年次大会 |
| | ● 5/14(火) 次期地区役員・クラブ三役セミナー |
| | ● 5/26(日) 第65回334複合地区年次大会 |

2018年8月～12月 物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ	逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2018. 8.15 L	伊 藤 孝 尚	浜 松 南LC	2018. 9.22 L	高 田 正 光	裾 野LC
2018. 8.16 L	石 井 保太郎	熱 海LC	2018.11. 2 L	深 澤 長 喜	三 島LC
2018. 8.20 L	植 中 洋 司	清水みなとLC	2018.11. 7 L	勸 山 弘 沼	津LC
2018. 9.11 L	永 田 益 滋	大 東LC	2018.12. 9 L	高 木 伯 一	浜 松 東LC
2018. 9.16 L	清 水 忍 磐	田LC	2018.12.10 L	横 山 業 沼	津LC

表紙の写真:元日の日の出 裏表紙の写真:元日の富士山

the Lion



元日の富士山